

あれ何だった？知っておきたい！②間接民主制

「聞いたことがあるけど…」「習ったような？」
そんな政治に関する用語を解説するコーナー！
これでニュースの裏側もわかるかも!?

にゃん太君と
にゃんこ先生
「二代表制って
なあに？」



Ⓣ：最近、直接民主制が話題になったね。

Ⓣ：高知県大川村で、村議会を廃止して町村
総会（直接民主制）を検討したからだね。

Ⓣ：そんなことが出来るの？

Ⓣ：地方自治法に規定があるんだ。過
去に八丈小島の町で記録があるね。

Ⓣ：直接みんなで決めるのは大変そうだね。

Ⓣ：そうだね。みんな仕事もあるし忙しいから、代
表を選んで任せる。それが間接民主制だね。

Ⓣ：効率化だけが良いところなの？

Ⓣ：ほかにも、住民が適任と思う知識や意識を持っ
た人を選び、専門的に取り組ませることが出来るね。
衆愚政治に陥りにくいと言われているね。

Ⓣ：デメリットはあるのかな。

Ⓣ：直接民主制に比べ、正当性や民意の反映度は劣
る。また、政治に関わる機会が少なく、政治的無関心
が増える。最近、投票率も下がり続けているね。

Ⓣ：選挙にはちゃんと行かないとね！

リョータがゆく！ともに成長・子育て日記



娘1歳10ヶ月。自己主張がかなり出てきました。何かイベントに連れて
行っても、抱っこだけではもたず降りたがります。降りると歩きまわると
で静止すると、大泣き……。もの凄く反って泣くので、頭を打たないよう
に支えます。なぜ子供はエビみたいになって泣くのでしょうか。何せ、大人
の都合通りにはいかないということですね。

子供に関する政策も、そうした視点が必要だと気づかされます。

中村亮太 PROFILE

1981年4月4日生まれ 平成22年より現職・2期目 白陵中学・高校
関西学院大学法学部卒、神戸大学大学院 博士課程前期修了（政治学修士）
尊敬する人物は廣田弘毅・後藤田正晴・土方歳三
加古川町木村にて、妻と娘（1歳10か月）と3人暮らし。

後援会員募集中！

なかむら亮太後援会では、後援会員を募集しております。会員の皆様には、後援会報のほ
か様々なご案内を差し上げます。また同時に、市政報告書をご近所にお配りいただけるボ
ランティアの方、後援会看板をご自宅や店舗等に設置いただける方も募集しております。
ぜひ、下記までご連絡下さい。

TEL：079-427-9395（会派控室）・079-425-3811 / FAX:050-3156-1255 /

E-MAIL：info@ryotanakamura.com HP：http://ryotanakamura.com/

なかむら
亮太



RYOTA NAKAMURA

市政報告 リョータ ジャーナル

NO.32
2018年1月発行
なかむら亮太後援会



未来へ！

～次世代に誇れる加古川のために～



加古川市議会議員

りょうた
なかむら亮太

<http://ryotanakamura.com/>



なかむら亮太

検索

平成29年第6回定例会

議案第106号	平成29年加古川市一般会計補正予算（第3回）	可決（賛成）
議案第115号	加古川市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の 一部を改正する条例を定めること	可決（賛成）
議案第120号	指定管理の指定のこと（勤労会館）	可決（賛成）
議案第125号	指定管理の指定のこと（つつじ園）	可決（賛成）

指定管理者の指定について

勤労会館：（一社）加古川労働者福祉協議会

施設目的にも合い、これまでの管理経験もある（一社）加古川労働者福祉協議会となりました。
今後は建物自体をどうするかが課題になります。老朽化やバリアフリーを考えれば、公共施設等総合管
理計画に基づき、他の施設との統合を視野に入れねばならないと考えます。

つつじ園：（社福）博由社

つつじ園を運営していた同法人が運営する施設において傷害事件があり、改めて公募を行った結果、評
価点から博由社が引き継ぎの管理者となりました。委員会でも多数の意見が出ましたが、つつじ園につ
いては保護者の評価も高く継続運営を望まれているとの報告もあり、認定されました。

入学準備金制度を創設

○制度について

子供の貧困が社会問題となる中で、経済的な理由によりランドセルや制服など入学に必要な物品等の準備に困ることの無いよう、**入学前に「入学準備金」を支給する制度が新設**されました。

なお、これまでも就学援助の「新入学児童生徒学用品費」として8月に支給をしていましたが、その制度も残ります。(2重に支給を受けることはできません。入学準備金を申請していない場合、同額が支給されます。)平成30年4月入学の生徒から適用されます。

○支給対象者

新年度に小学校・中学校に入学する児童生徒のうち、申請時に市内に居住しており就学援助の要件に当てはまる者。ただし、生活保護受給者は除く。

○入学準備金の返還

- ①入学前に転出した場合
- ②新年度に加古川市内の小中学校に入学しない場合(市外の国立・県立・市町村立・私立の小中学校、インターナショナルスクールに就学する場合など)
- ③3月末までに生活保護が開始となった場合

休日夜間の一次救急定点化へ

2市2町の圏域における、休日や夜間での一次救急について、定点化されることが決定しました。

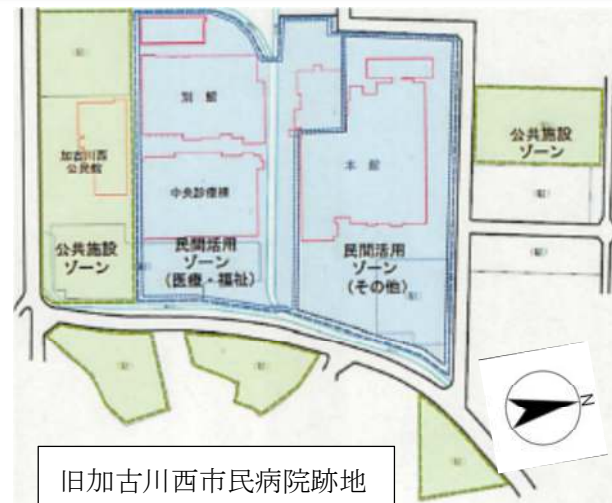
ポイント

- ①夜間急病センターは、昭和55年の開設後37年が経過し老朽化が進んでいるが、診療を続けながら同じ敷地内で大規模改修や建て替えを行うことは難しく、移転が適切。
- ②休日昼間の一次診療は、医師不足の問題のほか、輪番ではなく定点化し住民に対してわかりやすい医療体制を築くべき。
- ③夜間と休日昼間の一次救急診療は統合し、同一地で行う。
- ④実施時期などは東播臨界広域行政協議会で引き続き協議し決定する。

候補地について

休日夜間の定点化を行う場所については、加古川西市民病院跡地の公共ゾーン(左図緑部)のどこかで行うこととされました。南は西公民館なので、実質的には北側の地と予想されます。

西市民病院跡地では民間病院が開院に向けて進んでおり(青色部)、この件と合わせて地域医療の集積地として活用が期待されます。



旧加古川西市民病院跡地

習熟度別少人数指導を考える

習熟度別少人数指導とは?

東京都などが積極的に取り組んでいる指導法。基礎学力の定着を図るために、習熟度によってクラスを分けて、それぞれに合った指導を行う。

習熟度別指導については以前から興味があり、委員会視察の際に希望を出し、東京都大田区への視察が実現しました。文科省の調査でも児童の正答率と家庭の世帯年収には相関関係があるとされており、子供の貧困対策と低位層の引き上げを図る目的で実施されました。習熟度別指導は様々な新しい発見もあり、検討の余地があると思われます。

気になる点

① 生徒や保護者に抵抗感はないのか

クラス分けは理解度テストと生徒の希望によって決められます。子どもから「まだ理解できていないから、じっくりできるクラスが良い」などの意見も多く、保護者も子どもの「わかった」と喜ぶ姿を見ることで理解をしているとのことでした。

気になる点

② 効果は

学力にあった適正な教育により、特に低位層の学力向上に効果が出ています。

気になる点

③ 教師側の評価は

習熟度がバラバラの中で授業をするよりも、ある程度の習熟度で固まっている方が、指導もしやすいようです。

気になる点

④ 塾などで進んでいる子は

塾などで進んだところを学んでいる子供も多いのですが、その子がそれを活用できるかは別問題です。習熟度は、「知っている」だけでなく「いかに使うか」を学ぶことで、更に高まります。

その他

- ・効果があるのは、算数・数学・英語。
- ・クラスは单元ごと、月1回程度で変わる。

課題

- ①「クラスを学力別に分ける」という言葉のイメージが先行しないような準備と仕組み作り。
- ②少人数指導は必然的に教師数が必要となる。その人員加配と費用。(これらは県の管轄になります)

視察を終えて～「学力」の認識を改めるべき～

今回の視察で感じたのは、「学力」に対する認識の違いです。私たちが子どものときは、どれくらい知識があるのか、解き方や公式を知っているのかが学力と捉えられていました。しかし、今は知っているだけでは意味がなく、「如何に使いこなすか」が学力として求められています。学習指導要領も「主体的・対話的で深い学び」となりました。知識だけでなく、そこから思考力、そして学びに対する姿勢を養うということです。その意味で、子どもたちが「まだしっかり理解できていないから、じっくりのクラスが良い」と言うことが、学びに対するあるべき姿勢と言えます。

我々保護者世代こそが、以前の感覚で「学力でクラス分けなんて」と思うのではなく、「学力」「勉強ができる」の意味は変わっており、知識だけでない子どもたちの力をどう伸ばすかを考えねばいけません。